



# 名

語り継がれる  
茶の湯の茶碗

# 碗

2022.9.13 tue - 12.11 sun

秋季展では春の香合展に引き続き、茶の湯をテーマに当館に伝わった茶碗の数々を展示致します。中国で生まれた唐物、朝鮮半島より伝わった高麗物、そして日本で焼かれた和物、樂と4つのテーマからそれぞれの名碗を選出。また昨年来、最新の研究に基づいた茶の湯の茶碗を紹介する書籍（淡交社）が発売されており、当館所蔵の茶碗も数多く掲載され、注目を浴びていることから、当該掲載茶碗を中心に紹介します。

茶の湯の歴史は、鎌倉時代に中国から禅宗とともに伝わった抹茶に始まります。桃山時代に入り利休によって大成され、その後茶人や数寄者によって展開されていきます。その歴史の中で時代に合った美意識で茶碗が珍重され、今日まで大切に遺されてきました。

滴翠翁遺愛の茶碗が一堂に並ぶ展覧会に、茶の湯の歴史の一端を感じていただければ幸いです。



絵唐草文



祥雲州紙



野神焼 流箱



高麗青磁 銘壺照文



赤楽 銘龍田 一丸

滴翠  
美術館  
秋季展

EVENT

矢ヶ崎善太郎先生の建築サロンツアー第2弾  
「奈良界隈の茶室と建築を学ぶ」  
10/12 (水)・18 (火)

お問合せ・お申込み  
淡交社 営業企画部  
03-5379-3227

## 滴翠美術館

TEKISUI MUSEUM OF ART

- 開館時間 | 10:00 ~ 16:00 (開館は 15:30 まで) ■ 休館日 | 月曜、11月5日 (イベントのため臨時休館)
- 入館料 | 一般 630 円 / 高大生 420 円 / 中学生以下無料 ※ 団体割引 15 名様以上 2 割引き、その他各種割引あり
- アクセス | [電車] 阪急芦屋川駅より北西へ徒歩約 8 分, JR 芦屋駅より徒歩約 15 分, 阪神芦屋駅より徒歩約 25 分  
[お車] 阪神高速道路芦屋出口より約 10 分
- お問合せ | 〒659-0082 兵庫県芦屋市山芦屋町 13-3 [TEL] 0797-22-2228
- HP | <http://tekisui-museum.biz-web.jp/>